

平成 28 年度
公益財団法人立川市地域文化振興財団

コミュニティ奨励賞 表彰式

《式次第》

- 一、 開 会
- 二、 理事長挨拶
- 三、 表彰内容報告・列席者紹介
- 四、 表彰者発表及び表彰状授与
 - (一) 文化・芸術活動奨励賞
 - (二) コミュニティ活動奨励賞
- 五、 受賞者謝辞
- 六、 閉 会
- 七、 受賞者記念写真撮影

平成 29 年 3 月 11 日(土)午前 10 時 30 分開会

たましんRISURUホール（立川市市民会館）第 1 会議室

主催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

表彰者

[文化・芸術活動奨励賞]

(表彰順・敬称略)

昭和第一学園高等学校吹奏楽部 (推薦者：百瀬公博)



平成 28 年 8 月 12 日に東京都高等学校吹奏楽連盟が主催する第 57 回東京都吹奏楽コンクールで、全 295 校 (BII 部門 76 校) において 2 年連続金賞を受賞し、代表選考会に出場した。11 月 5 日に (公財) 日本音楽教育文化振興会が主催する第 22 回日本管楽合奏コンテスト全国大会 (高等学校 A 部門) において優秀賞を受賞した。

高松町お囃子保存会 (推薦者：吉留勝昭)



昭和 53 年発足、昭和 56 年から小学生にお囃子を教える。毎週火曜日に高松会館で練習しながら伝統芸能の保存に努め、地元祭礼へ参加して地域コミュニティづくりに貢献、後継者を育成、立川文化の更なる向上に寄与している。

立川錦囃子連 (推薦者：吉留勝昭)



昭和 30 年発足、毎週土曜日に錦六会館で練習しながら伝統芸能の保存に努め、地元祭礼へ参加して地域コミュニティづくりに貢献、後継者を育成、立川文化の更なる向上に寄与している。

芝田時次 (推薦者：吉留勝昭)



年間を通し、毎日土づくりから水やりまで趣味を通じて苗の育成を50年間行っている。菊花愛好会のあらゆる活動の基盤となり、園児・児童への指導に提供し、次世代へ菊花づくりを継承する機会を創出している。この姿勢は会員の模範となっており、団体活動の継続にも貢献している。

[コミュニティ活動奨励賞]

(表彰順・敬称略)

鈴木 文 (推薦者：旭 博之)



昭和63年から習い始めたマジックの腕を活かして、平成15年4月より仲間と一緒に至誠ホームの特養やデイサービスで手品のボランティアを開始する。現在は毎月第4火曜日、フロアでお年寄りに手品を披露している。



公益財団法人立川市地域文化振興財団 Tachikawa Culture & Community Foundation

市民の皆様が人や地域との絆を深め、
笑顔あふれる心豊かな生活を送るために、
財団は文化芸術活動を広め、育て、支えます。

公益財団法人立川市地域文化振興財団は、市民の文化向上と福祉の増進を図るため、コミュニティの振興に関する事業を推進し、地域社会の発展と健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的に、昭和63年4月に、立川市の外郭団体として設立されました。

平成2年10月には立川市市民会館の管理運営を市から受託し、市民会館を拠点とした様々な文化芸術活動などを通しコミュニティ振興のための事業を展開してきました。

そして近年は、より多くの市民の皆様が文化芸術に触れる機会を提供できるよう、市民会館から市内全域にフィールドを広げ様々な文化事業を展開しています。これからも、立川市地域文化振興財団の文化事業に是非注目下さい。

財団の主な文化事業

- 鑑賞事業・・・クラシックやポピュラーなど音楽や、演劇・古典芸能などの舞台芸術鑑賞事業、美術鑑賞事業
- 普及事業・・・市民オペラ・演劇祭・市民絵画展・吹奏楽などの市民参加型普及事業、ロビーコンサート・出張ステージなどの鑑賞型普及事業
- 支援事業・・・若手アーティストや市民団体への活動支援事業、市と連携し企画提案や事業実施をする企画相談事業
- 広報・友の会事業・・・文化芸術に関する情報の収集や発信のための情報紙やホームページの運営、友の会制度
- 地域コミュニティの活性化及び振興事業
・・・市民祭やお祭りなどのコミュニティ事業、ワークショップ事業など



メールマガジン「ムーサ」会員募集中！

公益財団法人立川市地域文化振興財団では、メールマガジン「ムーサ」を配信しています。登録・年会費無料。

右のQRコードから、または下記のアドレスへ空メールを送るだけで簡単に登録できます。
touroku@tachikawa-chiikibunka.or.jp

